

## 4 節 管理運営・利用促進の方針（宜野湾市仮設避難港及び周辺）

### 1 . 管理運営の方針

---

#### （1）創意工夫あるサービス供給ができる環境づくり

- 施設利用者への良質なサービス供給はもとより、新たなニーズを誘引する創造的かつきめ細やかなサービスが供給できるよう、柔軟性・効率性等の民間事業者が持つ利点を最大限に活用した管理運営をめざす。

#### （2）事業コストの縮減

- ライフサイクルコスト（施設の企画・設計から建設、維持管理、修繕、解体・撤去までの総コスト）を見定めつつ、民間活力（資金・管理運営等）等を取り入れた事業の展開を図り、事業コストの縮減をめざす。

### 2 . 利用促進の方針

---

#### （1）誘客プロモーションの拡充

- 宜野湾市西海岸地域の地域情報及び交通情報等を来訪前に確認できるよう、多様なチャンネルを活用し地域情報の発信を行うことで、コンベンションセンター及び周辺施設の利用者が目的にあった時間を過ごすことができる環境づくりをめざす。

#### （2）地域情報案内・サイン等の拡充

- 交通拠点となる宜野湾市仮設避難港及びコンベンションセンター周辺域では、県外からの来訪者等への利便性を高めるため、地域情報等を提供する機能（i コーナー・案内サイン等）の拡充をめざす。

## ■基本方針図

### 対象地区の将来像

亜熱帯の海辺を活かし交流・文化・活力を創る  
賑わいとくつろぎの国際海浜都市

### 対象地区の目標

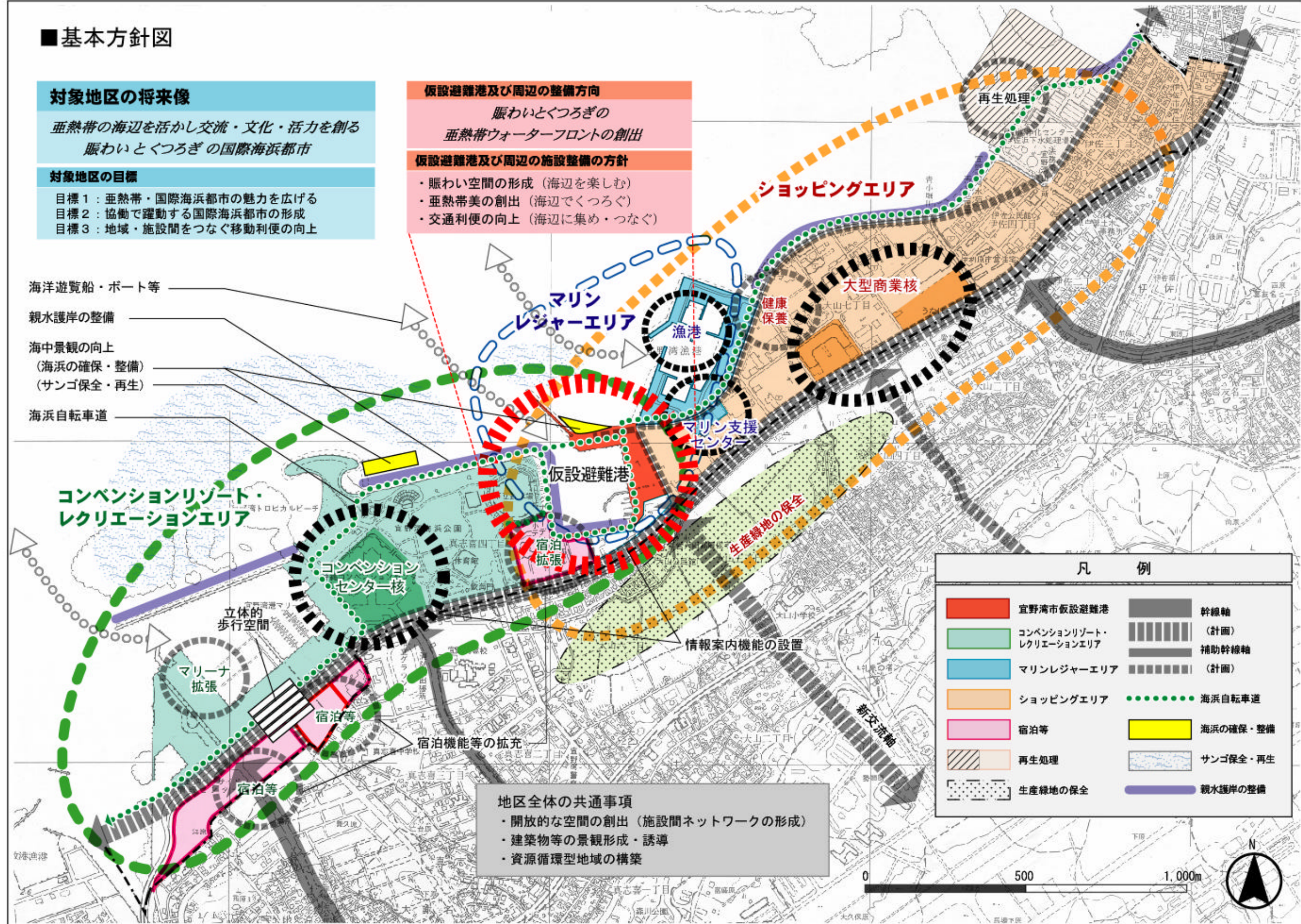
- 目標1：亜熱帯・国際海浜都市の魅力を広げる
- 目標2：協働で躍動する国際海浜都市の形成
- 目標3：地域・施設間をつなぐ移動利便の向上

### 仮設避難港及び周辺の整備方向

賑わいとくつろぎの  
亜熱帯ウォーターフロントの創出

### 仮設避難港及び周辺の施設整備の方針

- ・賑わい空間の形成（海辺を楽しむ）
- ・亜熱帯美の創出（海辺でくつろぐ）
- ・交通利便の向上（海辺に集め・つなぐ）



海洋遊覧船・ポート等

親水護岸の整備

海中景観の向上

(海浜の確保・整備)

(サンゴ保全・再生)

海浜自転車道

コンベンションリゾート・  
レクリエーションエリア

コンベンション  
センター核

立体的  
歩行空間

マリーナ  
拡張

宿泊等

宿泊等

宿泊機能等の拡充

仮設避難港

漁港

マリン支援  
センター

健康  
保養

大型商業核

ショッピングエリア

マリン  
レジャーエリア

生産緑地の保全

情報案内機能の設置

新交流軸

### 地区全体の共通事項

- ・開放的な空間の創出（施設間ネットワークの形成）
- ・建築物等の景観形成・誘導
- ・資源循環型地域の構築

### 凡 例

	宜野湾市仮設避難港		幹線軸
	コンベンションリゾート・レクリエーションエリア		補助幹線軸
	マリンレジャーエリア		(計画)
	ショッピングエリア		(計画)
	宿泊等		海浜自転車道
	再生処理		海浜の確保・整備
	生産緑地の保全		サンゴ保全・再生
			親水護岸の整備